

# ibain



いばいん

2026  
No.115 4

いばいんとは…

方言で「一緒に行きましょう」という  
意味があります。地域やボランティア  
活動に一步踏み出すきっかけになる  
ような情報を発信していきます。



特集

その一歩に、  
ボランティアという選択

## 特集 その一步に、ボランティアという選択



(左から岩倉さん、千葉さん、池田さん、田村さん)

今回のボランティア特集では、町内で活動しているボランティアの皆さんにインタビューを行い、ボランティアを始めるきっかけやその魅力についてお聞きしました。

### 最初の一步を 踏み出す勇気が大切

丸森たんぽぽこども園と丸森ひまわりこども園でみそを使った食育活動「MISO de SMILE プロジェクト」を行っている仙台大学の学生ボランティアの皆さんにインタビューを行いました。4人も将来は保育士を目指しており、それぞれが今までに運動教室やキャンプなど子どもに関わる様々なボランティア活動に参加してきたそうです。

—ボランティアに参加したきっかけを教えてください。

(田村さん) 私は2年生の時からこの活動に参加しています。大学でボランティアの募集があったのを先生から教えていただき、参加してみたら背中を押していただき参加しました。

(池田さん) 私は友人の千葉さんに誘われて参加しました。自分一人ではきっと参加しなかったと思います。

—ボランティアをしてみて感じたことはありますか？

(岩倉さん) 子どもたちの前で説明をしたり話したりすることは最初とても緊張しました。子どもたちに分かりやすく伝えるための工夫など考え、学ぶことができました。

(池田さん) 最初は、子どもたちは説明とかは聞いてくれないんじゃないかと思ったけど、実際はちゃんとルールを守って、話を聞くときはしっかりとイスに座る姿に驚きました。ボランティアに参加したから得られた学びや発見がありました。

### MISO de SMILE プロジェクト

仙台大学 体育学部 子ども運動教育学科

田村 竜太さん(4年生) 岩倉明日美さん(3年生)

池田 紗羽さん(1年生) 千葉詩歩子さん(1年生)

(千葉さん) 子どもたちと関わることはあったが、今回のような親子との関わる活動に参加したことが無かったのでそういった場面でのやり取りなど先輩の姿を見て学ぶことができました。来年は自分も同じようにできるように頑張りたいと思います。

—これからボランティアをやりたい人たちに一言お願いします。

(田村さん) やっぱり、勇気を持って最初の一步を踏み出してみることが大切だと思います。自分も先生から背中を押してもらえたおかげでボランティアに参加し子どもたちとたくさん関わることができました。来年からは保育士として働くのでボランティアでの経験を活かしたいと思います。

MISO de SMILE プロジェクトとは  
明成高等学校食文化創志科と仙台大学子ども運動教育学科との高大連携(教育資源の相互活用・共学)として実施している取り組みです。



伊藤 遥さん(大張)

### 何者にもなれなかった自分が 誰かの役に立てていると実感できた

私は今、大張カラオケ愛好会のメンバーとして活動をしています。昨年に発足したばかりのグループですが、住民さんの前で発表するなど楽しく活動をしています。私自身、カラオケ愛好会に入る前までは、ボランティアをした経験が無く、ボランティアと聞くと青年海外協力隊などのイメージで自分には遠いものだと思っていました。ただ、子どもの頃を振り返ると地域のお祭りなど、みんなで力を合わせて準備しているのを近くで見ましたが、あれも地域の繋がりから生まれるボランティア活動だったんだと思います。大学の時に関東に行きましたが、結婚を機に丸森町に戻ってきて、困ったら地域の人で支え合う繋がりや強さを改めて感じています。昔から顔見知りの大張の皆さんと一緒にカラオケ愛好会として活動をする中で、お客さんの笑顔や生き生きと活動するメンバーの姿、皆さんから元気をもらって自分も楽しく頑張っています。人生一度なので、興味や迷う気持ちがあれば、皆さんもまずはやってみたらいいんじゃないかなと思います。



△ボランティア交流会でマツケンサンバを披露

### 引っ込み思案な私を 変えてくれたボランティア

私が初めてのボランティアに参加したのは、60歳の時に台風19号での災害ボランティアでした。もともと引っ込み思案なところがあって、ボランティアに興味はあったけど参加できずにいました。ただ、東日本大震災の時にボランティアに参加できなかったのがずっと心残りでした。そんな中、丸森町が被災し自宅も生活はできるけど被害を受けました。地元で起きた大きな災害、何か自分にできることはないかと考えているうちに自然と災害ボランティアセンターに足が向いていました。ボランティアとして活動していく中で、一緒にグループになった方が、住民の方に「ボランティアさせてくれてありがとうございます。」と言っているのを聞いて、ボランティアって一方的な支援でなくお互い様の精神なんだと感じました。ボランティアを続けるうちに顔見知りも増え、たくさんの繋がりができました。ボランティアって意外とハードルは高くないと思います。知らない世界に飛び込むのは勇気がいります。でも60歳の自分でも初めての一步を踏み出せたんですから、皆さんも自分のできる範囲で小さな一步でも踏み出してみると新しい自分が発見できるかもしれませんよ。



△パルーンアート講座

△花壇の花植えボランティア



齋藤 信一さん(丸森)

『MISO de SMILE』プロジェクト

明成高等学校と仙台大学の学生が6月に来園し一緒に作ったみそが完成しました。保育参観ではみそ玉作りを行い、美味しいみそ汁をいただきました。

みそ作り



米麴 塩  
大豆をつぶそう！  
ギュッ!!ギュッ!!

みそが  
完成したよ!

完成したみそに親子で麩やワカメをつけてかわいいみそ玉を作り、出来上がったみそ玉を溶かしみそ汁を試食しました

蒸した柔らかい大豆をつぶし、米麴・塩と混ぜました。



おいしい!!

出来上がったみそはお家に持ち帰りました。「おうちのみそと違う!」「みそカレーを作ったよ!」など、たくさんの感想がありました。

サッカー教室

宮城県サッカー協会の方にコーチとして来ていただき、サッカー教室を行いました。

まずは準備運動。鳥やワニ、ひよこなど身近な動物の動きをリレー形式で楽しみながらウォーミングアップ。その後コーチから、サッカーのルールを聞き、いざボールを使って実践。試合形式で行うと、友だちにパスをしたり、シュートを決めたり、夢中になってボールを蹴っていた子どもたちでした。

試合形式で実践



ボールを蹴るのが  
楽しいね!

コーチのお話タイム



いろいろなゲームをしたら、体がポカポカになってきたよ!

優しくて面白いコーチのお話は、とても分かりやすかったです!

よーし!ぼくのボール、ゴールまで届け~!

感謝の会

1年間お世話になった地域の方々をお招きして感謝の会を行いました。クッキングでは、野菜の皮をピーラーで剥いたり、猫の手を意識しながら野菜を切ったりして里芋汁を作りました。その後は児童全員でありがとうの気持ちを込めて、歌を歌ったりダンスをしたりして、できあがった里芋汁をみんなでいただき楽しいひと時を過ごしました。

シュイ〜って皮をむくよ!

大根の皮むき  
楽しい!



みんなで食べると  
美味しいね!

こども園・保育所の様子や情報をお届けします

笑顔 いっぱい  
まるもりっこ

感触あそびの紹介 (丸森たんぽぽこども園)

さまざまな素材に触れて感触を確かめることで指先の感覚を育んだり、想像力や思考力を高めることにつながります。

寒天遊び

〈準備〉粉寒天を溶かし、食紅で色を付けて冷やし固めます。



指でつぶしたり、おままごとの包丁で切ったりスプーンですくったりしながら楽しんでます!

ちょきちょき

カラフル寒天パフェ



泡遊び

〈準備〉ビニール袋に少量の水とハンドソープと空気を入れて、振るとモコモコの泡が出来上がります。



袋の先を少し切つて、絞り出すと...

アイスクリーム



アイスだ!

春雨遊び

〈準備〉春雨を水で戻し、食紅で色を付けます。



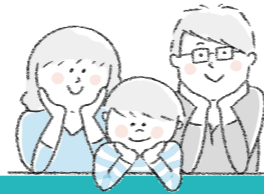
春雨を手でつかんだり、トングではさんで、容器に入れて楽しみました!



ら〜めん!

# 令和8年度事業計画・予算

丸森町地域福祉活動計画（令和6年度～令和10年度）で掲げた『であい、ふれあい、支え合うことを育むまち“まるもり”』を基本理念に、地域住民や福祉関係団体及び丸森町との連携を図りながら、さまざまな事業に取り組みます。



## 令和8年度の主な事業

### 1 法人運営・地域福祉事業

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| (1) 理事会・評議員会の開催      | (7) 赤い羽根共同募金の推進        |
| (2) 丸森町地域福祉活動計画の進行管理 | (8) ふれあいサロンの活動支援       |
| (3) 広報紙発行・ホームページ管理   | (9) ひきこもり等の課題に関する講座の開催 |
| (4) 社会福祉事業功労者表彰式の開催  | (10) ベビーベッド貸出事業        |
| (5) 健康と福祉のつどいの開催     | (11) Viva！遊び場事業        |
| (6) 福祉団体への助成         | (12) フードバンク事業          |

### 2 ボランティア活動事業

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| (1) ボランティアの活動支援・調整     | (4) 災害ボランティアセンター研修会の開催 |
| (2) 趣味から始めるボランティア講座の開催 | (5) 自主防災組織との連携         |
| (3) 福祉体験・防災学習の実施       |                        |

### 3 相談支援・貸付・権利擁護事業等

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| (1) 生活相談所の運営（第1、第3火曜） | (3) 成年後見事業 |
| (2) 生活安定資金貸付          |            |

### 4 受託事業

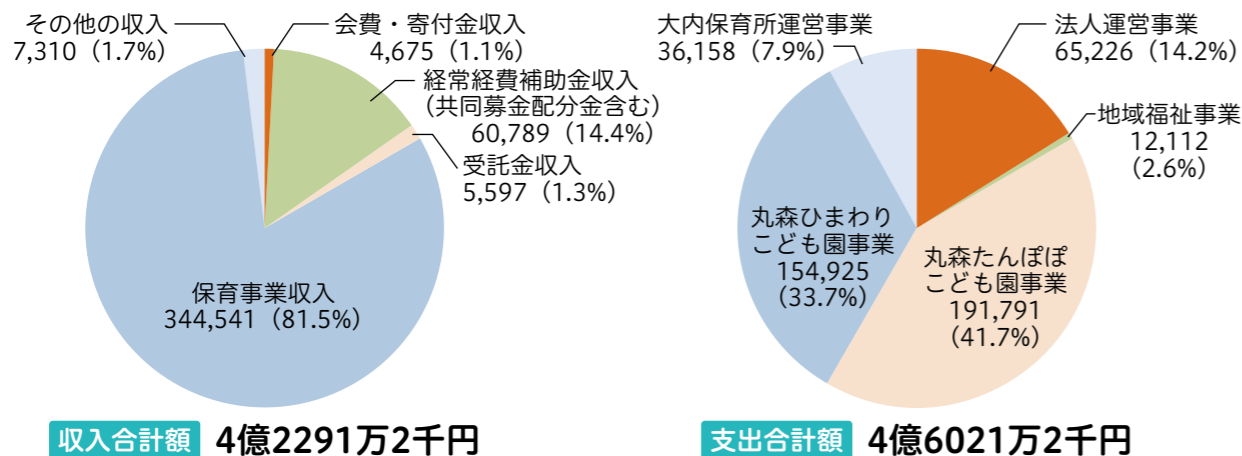
- |                |                                      |
|----------------|--------------------------------------|
| (1) 地域福祉等推進事業  | (4) 生活福祉資金貸付                         |
| (2) 家族介護者交流サロン | (5) 日常生活自立支援事業                       |
| (3) 介護教室       | (6) 生活支援体制整備事業<br>（第1層生活支援コーディネート業務） |

### 5 認定こども園・保育所運営事業

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| (1) 丸森たんぽぽこども園の運営 | (3) 大内保育所の運営 |
| (2) 丸森ひまわりこども園の運営 |              |

## 令和8年度収支予算

（単位：千円）



収支差額の不足は繰越金により運営しています

# 社会福祉事業功労者表彰式並びに赤い羽根募金箱をつくろうコンクール表彰式

受賞おめでとうございます

期日 令和8年2月11日（水）

会場 丸森まちづくりセンター

### 功労表彰

（敬称略）

#### 民生委員・児童委員

八巻 昌一・草刈純美子・八島 比呂  
菊地 健二・一條 節子

#### 社会福祉施設役職員

高橋えり子

#### 丸森町社会福祉協議会前理事

齋藤 洋一

#### 丸森町社会福祉協議会前会長

森 浩

#### 丸森町社会福祉協議会評議員

板橋 茂・高橋しずい

#### 多額の寄付者

有限会社小野商店・佐藤印刷株式会社

佐藤 艶子・門間 郁子

### 善行表彰

（敬称略）

#### 民生委員・児童委員

春日部初世・佐久間新平・佐藤 光子  
齋藤 米子・佐藤 隆一・引地 輝子

引地 明子・菊地 礼子・阿部 尚子

渡邊 澄子・小野のり子・小川喜美子

小野もと子・高橋 洋子・小畑かつ江

菅原 公孝・谷津 俊幸

#### ふれあいサロン団体

大館むつみ会・ベルの会

#### 特別会員

株式会社ハズ・有限会社さくやす

有限会社島影工務店

#### 会長認定（こども園・保育所活動協力等）

いなか道の駅やしまや

## 赤い羽根募金箱をつくろうコンクール入賞作品



#### 宮城県共同募金会賞

丸森小学校1年  
もり ゆずき  
森 柚貴さん



#### 丸森町共同募金委員会賞

丸森小学校4年  
やまきはに  
八巻陽虹さん



#### 丸森町民生委員児童委員協議会賞

館矢間小学校2年  
あだちひな  
安達日菜さん



#### 丸森町社会福祉協議会賞

丸森小学校5年  
やまきしえり  
八巻誌絵莉さん



#### 丸森町商工会賞

丸森小学校2年  
ふるかわみこと  
古川愛心羽さん



#### 河北新報社賞

丸森小学校6年  
たかのゆい  
高野結衣さん



#### 丸森町行政運営推進委員会賞

丸森小学校5年  
いとうこさき  
伊藤小咲さん



#### 丸森町長賞

館矢間小学校6年  
やっこな  
谷津心菜さん



#### 丸森町校長会賞

館矢間小学校1年  
ねもとゆい  
根元結さん



#### 丸森町教育委員会賞

丸森小学校3年  
おのいろは  
小野彩羽さん

総数79点のご応募をいただきました。  
皆さん、ありがとうございました。



## 商品券が当たる! ろぐたんクイズ



**Q** 「MISO de SMILEプロジェクト」でこども園の園児が  
仙台大学の学生と一緒に作ったものは?

- ①味噌 ②醤油 ③塩

ハガキまたは右のホームページ内回答フォームより、  
①答え、②氏名、③住所、④年齢、⑤電話番号、⑥広報紙の感想を記入のうえ、お申込みください。

抽選で5名様にあぶくま商品券1,000円分を差し上げます。  
発表は発送をもってかえさせていただきます。

応募先 回答フォーム▶

〒981-2152 丸森町宇屋55-1  
丸森町社会福祉協議会



締切：4月20日(月) (当日消印有効)



## 困りごと…悩みごとは生活相談所へどうぞ!

話し相手がいなくて困っている、悩んでいるけどどこに相談したらよいか分からないなど、多様な課題を抱えた方々を支援する無料の相談窓口です。ご本人と一緒に課題を整理し、解決に向けて支援します。

相談日		
4月7日(火)	4月21日(火)	5月7日(木)
5月19日(火)	6月2日(火)	6月16日(火)

時間 午前10時～正午

場所 丸森町社会福祉協議会事務所

### 電話でのご相談

#### 受付時間

平日の8時30分～  
17時15分  
TEL：72-2241

### LINEでの相談はこちらから!

#### 受付時間

平日の  
8時30分～  
17時15分



## 令和8年度ボランティア保険加入受付中

ボランティア活動中の万が一の事故やケガ、そんなときに自分も相手も守るのが「ボランティア保険」です。加入申し込みは丸森町社会福祉協議会で受付中ですのでボランティアをする人もされる人も安心の活動を始めましょう。



**保険期間** 令和8年4月1日から令和9年3月31日

詳しい補償内容や保険料については右にある二次元コードから読み込んでいただくか、下記お問い合わせにご連絡ください。

**お問い合わせ** TEL 0224-72-2241 丸森町社会福祉協議会



## あたたかい善意ありがとうございました

令和7年12月1日～令和8年2月28日

「丸森町の福祉に役立ててください。」と次の方から寄付をいただいておりますので、紹介します。(敬称略)

### 金銭寄付

- 地域福祉
  - 12/11 舘矢間各種婦人会
  - 12/16 潮川 一博
  - 1/26 宮城県伊具高等学校
- 自動販売機募金
  - 船山建設株式会社 1,968円
  - 有限会社小野商店 5,106円

### 物品寄付

- こども園・保育所
  - 12/18 八島 哲郎  
蜂屋柿(こども園に寄付)
  - 12/22 丸森ロータリークラブ  
クリスマスプレゼント(お菓子)
  - 1/9 玉手 孝行 小正月用ミズキの木  
(ひまわりこども園に寄付)

社協HP /



Instagram /



Facebook /



この広報紙は町民の皆様からお寄せいただいた  
赤い羽根共同募金を財源に発行しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。